

日本の伝統と文化のシンボル「江戸城天守」の再建！

◎請願趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

日本には、長い歴史が育んできた世界に誇る伝統と文化があります。江戸城は徳川3代の将軍が次々に天守を築きました。取分け1657年明暦の大火で焼失し、その後天守台だけが再建されて上屋の建立は後回しになっている「江戸城寛永度天守」は、日本城郭建築の最高到達点であり、日本一壮大で美しい城であったと言われております。

ベルサイユ宮殿、バッキンガム宮殿、紫禁城、ベルリン王宮など、お城に限りませんが、各国の首都には、歴史と文化を誇るべきシンボルがあります。

コロナ以前には、年間2百万人以上が皇居東御苑を訪れ、その30～40%は外国の方と言われております。この「天守」が建立されると来訪者の大幅増加が予想されます。これら来訪者は神田・日本橋・銀座へと流れて行くことでしょう。日本橋は上空の高速道路の地下化工事が既に進行しておりますし、江戸城天守・日本橋を軸として東京の再開発に大きなインパクトを与えることが期待されます。

私達はこの「江戸城天守」を、日本各地に広がる香り豊かな純国産の木材を使い伝統工法により再建することを通して、首都東京のそして、各地のお城と連携して、地方の活性化にも貢献して行きたいと考えております。

この「江戸城天守」の美しい立ち姿を、世界に向けて発信することが出来れば、文化の魅力に溢れた国づくり「観光立国・日本」の新しいランドマークになることでしょう。

令和の世の「江戸城天守」建立を通して、次の世代がこの国の未来に夢と希望を持ち、日本に生まれたこと、日本人であることに感動と感謝の念を抱き、それをお互いに確認し共有できる場が提供できると信じています。日本人の為の『未来遺産』を創り上げる事業と捉えております。

以上を踏まえて、下記の請願を致します。宜しお願い致します。

◎請願項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

1. 首都東京に日本の伝統と文化のシンボルとして江戸城天守を造り、日本人のアイデンティティーを取り戻し、それを後世に伝える。
2. 皇居東御苑内の現在の天守台座の位置に江戸城天守を木造で再建する。

請願者氏名	
同上住所	〒

《ご署名は個人情報保護法に基づき厳重に保管し、署名に関わる目的以外には利用致しません》

●取扱団体：認定NPO法人江戸城天守を再建する会（お問い合わせ先事務局 浅井・山本 TEL:03-6423-1882）

〒101-0065 千代田区西神田 2-5-7 神田中央ビル 505